

中学校区における子ども像													
「確かな学び」「豊かな心」「健やかな体」を育みながら自他とともに尊重し、自ら考え、行動できる子ども													
令和8年度 重点目標													
1.思考力・判断力・表現力を育む授業づくり2.自分も他者も大切にする心の教育3.心身ともに健康な子どもの育成													
「確かな学び」の現状 ・既習漢字の復習や100マス計算, 作文学習に学校全体で取り組んでいる。基礎学力の面で、漢字は概ね目標を達成することができた。しかし、計算力の部分に課題が見られた。作文指導や研修テーマに沿った取り組み, 教育アンケートの質問項目に対する目標は概ね達成できた。 ・今年度より、本校の研修テーマを「自分の学びをつくる子どもを育てる～自己調整する力を育む単元・授業づくり～」とする。これまで培ってきた対話の基本スキルや、他者とつながり学びを深めようとする姿勢を生かしながら、子ども一人ひとりが自分の学びを把握し、見通し・振り返り・調整を通して主体的に学び力を育む単元・授業づくりについて研究を進めていく。				「豊かな心」の現状 ・自分を肯定的に捉えている児童が増えてきている。一方で「自分のよさ」や「自分らしさ」を肯定的に受けとめ切れていない児童もいる。 ・他者を思いやることを大切に考えている児童は多くいるが、思いや考えの違いにであったとき、気持ちを受け止めたり、考えを譲ったりすることに課題が見られる姿が多い。 ・授業中は、落ち着いて過ごせている。 ・そうじは、がんばれている児童が多い。 ・児童が主体となるあいさつ, ろうか歩行, 履物をそろえることが課題。 ・きまりを守ることにについては、一部の児童に課題がある。				「健やかな体」の現状 ・昨年度のアンケートでは、「体育の授業が好きですか」、「運動することは好きですか」という質問に対して、共に85%以上の肯定的回答が得られ、運動に対して前向きに捉える児童が増加してきている。 ・スポーツテストの結果では多くの学年で堺市平均を下回る種目が多い。特に『上体起こし』『長座体前屈』においては、男女ともに堺市平均を大きく下回っている。 ・けんかつアンケートから、「姿勢に気をつけて生活していますか」の肯定的評価が65%で向上している。睡眠については休日の生活リズムの乱れがみられる。 ・朝ごはんの3つのスイッチがわかる児童は75.8%(R7.12月けんかつアンケート) ・給食では野菜を多く使った和食の副菜の残食が多くなる傾向がある。(例:きんぴらごぼう, 大豆の五目煮, ひじきの甘煮)					
大項目	中項目	具体目標	具体的な取組	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～7月)	達成状況 (年度末)					
								自己評価			学校関係者評価		
確かな学び	学力向上	・授業で困らない計算力や漢字の書き取り力を身に着ける。(基礎学力の定着と向上) ・自分の思いや考えを表現できる。他者の思いや考えを聴くことができ、そこから自分の考えを深めることができる。(思考・判断・表現) ・GIGA スクール構想に基づき、ICT を効果的に活用できる。	・朝学や宿題・ICTを活用して、基礎学力の向上をめざす。 ・月に2回程度の作文指導を実施する。 ・年間を通じて「自分の学びをつくる子どもを育てる」をテーマに教職員で研究する。 ・子どもが自ら学びを進める授業の考え方(学びのコンパス)を各教科で実施する。 ・高学年:調べ学習やプレゼンソフトを活用して自分の考えを表現する。 ・低学年:児童用PCを活用し、学習のふりかえりに取り組む。	・本校の計算テスト1～6年生(2学期末集計)…正答率80%以上 ・ひらがな・カタカナテスト1年(2学期末集計)…正答率80%以上 ・漢字まとめテスト2～6年(1・2学期平均集計)……正答率80%以上 ・研修部会からの研究テーマに関する児童アンケート結果の向上。 ・児童用学校教育アンケート「思ったことや考えたことを文章にできる」「予想や考え方などをノートに書くことができる」…肯定的回答85%以上 ・高「児童用PCを使用して自分が調べたい情報を調べられますか?」低「ドリルパークに取り組んで習ったことの復習ができていますか?」…肯定的回答85%以上	本校独自の計算テスト 単元テスト 学校教育アンケート 研修部会からのアンケート	3学期	○	・基礎学力向上のため、朝学で漢字・算数の復習・習熟に取り組んだ。(計算テスト・漢字テストの集計は2学期末実施) ・PDCAサイクルシートを活用して、各学年の研修への取り組みについてのふりかえりを夏期研修時に実施。 ・全校をあけて、作文指導の充実に取り組んだ。 ・専科、5年生で研究授業および、事前事後討議会を実施。 ・児童アンケート、学校教育アンケートは2学期実施予定。					
		・「自分のよさ」「自分らしさ」を見つけ、自己肯定感を高める。 ・自分から他者に関わり、自他ともに良さを認め合い、集団としてなかよく活動できる。	・自分のことを知る取り組み(1学期) ・ありのままの自分を認め、受け入れる。(心の成長アンケートを取り、学年初め・中間・学年末と変容を見る) ・なかまとつながる取り組み ・学校全体で「なかまとつながる取り組み」をする。 ・なかまづくりの研修を行い、「目指す子ども像」を明確にして教職員の集団づくりへの意識を高め、実践を交流する。 ・学年・学級で行ったなかまづくりの取り組みから、児童が自分を意識して行動したかを実感するため、学期末ごとに心の成長アンケートを行って自分をふり返る。	・学校教育アンケート 「自分には、よいところがあると思いますか」:肯定的回答80%以上 「友だちの気持ちを考えて、行動している」:肯定的回答80%以上	学校教育アンケート	3学期	○	・自分のことを知る取り組み, なかまとつながる取り組み 心の成長アンケートを実施: ①自分の良いところを知っている ②友だちの気持ちを考えて行動している どちらも80%以上 ・なかまづくり研修(夏季研修):教職員がこどもの権利について学び, それをもとに集団づくりの方法について学んだ。また, 各学年・学級での活動の実践, 成果や課題について振り返りをおこなった。					

	規範意識の向上	・学校に入るとき、校舎に入るとき、教室に入るときに、自分からあいさつができる ・みんなのためにろうか歩行を意識して過ごせる ・みんなのために自分の履物をそろえたり、そろっていないスリッパを揃えることができる ・学校のきまりを守り、守ることに価値を見出せる	・ハテナボーイを朝の会で毎日チェック ・学校外での遊び方の指導を下校時間が早い日に全クラスで行う ・行事ごとや、要所でアクティブに学年集会を行い、全員で指導する ・朝礼で各委員会からよびかける ・朝礼で生徒指導担当から月別目標の講話をして、クラスで取り組む ・週1回の月目標のチェックと月1回の振り返りをクラスで丁寧に行う ・委員会活動と連携した取り組み（特に、あいさつ、廊下歩行、スリッパ） ・職員への啓発と職員が見本となる姿を見せる ・各学級、学年の現状を共有、取り組みを紹介・広める	・学校教育アンケートの「学校のきまりを守っている」の項目で肯定的評価80%以上 ・学校教育アンケートの「あいさつをよくしている」の項目で肯定的評価80%以上 ・学校教育アンケートの「掃除を一生懸命している」の項目で肯定的評価80%以上	学校教育アンケート	3学期	△	・掃除について、がんばれる児童が増えている。今年度から掃除時間短くなった影響もあり、まだ時間内に終わらない場合もある。 ・あいさつについて、各担任の先生へのあいさつは進んで行うことができる児童は多い。一方で、他学年や他クラスの先生へのあいさつにはまだ積極的に取り組めているとは言えない。 ・学校のきまりについて、概ね守ることができる児童が増えている。集団への指示では難しい児童に対して、個別の声掛けを増やして対応している。			
健やかな体	体力向上	・「体育の授業が好き」、「運動することは好き」という児童が学校の90%に増加。 ・スポーツテストにおいて平均記録を上げる。(特に昨年度堺市平均を下回った種目) ・体力向上への取り組みに積極的に参加する児童の増加。	・体育委員会を中心とした体力向上への取り組み(八田荘チャレンジ)を行う。昨年度よりリズム縄跳び、ハの字跳びだったが、今年度はスポーツテストの結果をもとに種目を検討する。 ・体育授業においては、授業改善をはじめとし、年間指導計画を見直す。 ・スポーツテストにおいては、体育委員会が事前に種目体験会を企画し、体の動かし方のイメージを持たせる。 ・スポーツテストの結果は全児童に返却することで、自分の体力の現状を振り返る機会をつくる。	・学校教育アンケートの「外で元気に遊んだり、体育の授業で体を動かしたりすることが好きだ」の項目で肯定的評価が90%以上。 ・けんかつアンケートの「体育の授業が好きですか」「運動することは好きですか」の項目で肯定的評価がそれぞれ90%以上。 ・スポーツテストの結果(堺市平均、前年度の結果との比較)	学校教育アンケート 研修部会からのアンケート スポーツテスト	3学期	△	・5月に行ったけんかつアンケートでは、「体育の授業が好きですか」、「運動することは好きですか」という質問に対して、共に85%以上の肯定的回答が得られている。 ・5月に行ったけんかつアンケートの「雨が降っていない日、学校の休み時間は、外で遊びますか」という質問では、昨年度11月に行った同じアンケートよりも肯定的回答が減少している(67.0%→64.2%)。全校なわとびチャレンジや全校かけ足チャレンジ、体育委員の取り組みを通して、積極的に外で遊ぶ児童を増やしていきたい。			
	健康の維持・増進	・日々、姿勢に意識を向けて生活ができる ・休日も生活リズムを意識することができる ・朝ごはんの大切さに気付くことができる ・健康のために給食で色々な食べ物を食べることができる ・給食の牛乳を飲みきることができる	・健康生活目標の周知(姿勢については毎回触れる)朝礼で保体給からの講話→担任からの講話 ・保健委員会と連携して姿勢や睡眠の啓発を行う。 ・けんかつ(健康生活)アンケートを年2回(5月・11月)実施して、実態を把握する ・発達段階に応じた目標睡眠時間の周知・指導を継続的に実施する。 ・朝ごはんの3つのスイッチに関して、学期に1回の指導を継続する。 ・給食委員会等と連携した啓発を行う。	・学校教育アンケートの「早寝早起き朝ごはん…」の項目で肯定的評価 - 児童用80%保護者用90%以上 ・けんかつアンケートで肯定的評価睡眠(学校があつた日…寝…)70%以上、(学校がない日…寝…)60%以上。姿勢60%以上 ・けんかつアンケートの「朝ごはんの3つのスイッチがわかる」項目で肯定的回答80%以上 ・けんかつアンケートの「苦手なものにも一口チャレンジしている」項目で肯定的回答90%以上	学校教育アンケート けんかつアンケート	3学期	△	・周知、指導を継続中(朝礼で健康生活目標、給食時間の放送で発達段階に応じた目標睡眠時間、ホワイトボード) ・けんかつアンケートより、朝ごはんの3つのスイッチの周知はまだ低い(74.0%)が、1口チャレンジ出来る児童は増えてきた。(93.7%) ・残食の多い野菜に焦点を当てて、7月に給食推し活週間を実施 ・けんかつアンケートの結果より、睡眠時間の定着が浅い(68.7%)→睡眠改善の取り組みを強化する予定。 ・睡眠・姿勢を意識する活動(ほけんクイズラリー)の取り組みをします。			
校長より（年度末）						学校関係者評価者から（年度末）					